

2026年度

# 神戸大学橋渡し研究支援拠点 活動紹介パンフレット



# 拠点長メッセージ —基礎研究の成果を社会へ—



神戸大学副学長  
橋渡し研究支援拠点長  
学術・社会共創機構  
共創事業部門長  
福本 巧

神戸大学はこれまで、臨床研究推進センターを中心に、医師主導治験や多施設共同研究、橋渡し研究支援などを通じて、臨床研究の推進と質の向上に継続的に取り組んできました。研究倫理・品質管理体制の整備に加え、アカデミア発シーズの実用化支援、人材育成、産学連携の推進など、多面的な活動を展開し、地域医療と医療イノベーションの発展に貢献してきました。この基盤をさらに発展させ、研究成果の実用化・社会実装を一層加速するため、「橋渡し研究支援拠点」を設置しました。本拠点は、学術・社会共創機構共創事業部門橋渡し研究部と医学部附属病院臨床研究推進センター臨床開発戦略部門によって組織され、基礎研究から非臨床、臨床開発、事業化に至るまでをシームレスにつなぐハブとして機能します。研究者・医療機関・企業・行政との連携を強化しながら、実用化を見据えた研究開発支援を推進し、医学・工学・情報科学

をはじめとする多分野融合を強みとすることで、医療機器、創薬、再生医療、デジタルヘルスなど幅広い領域で新たな医療イノベーションの創出を目指します。さらに、神戸大学関連病院群や国内外アカデミア、産業界とのネットワークを活用することで、研究開発から臨床実証、社会実装までを一体的に推進できる体制を構築しています。

神戸大学橋渡し研究支援拠点は、臨床現場のニーズと研究シーズを結び付けることで、患者さんへ新たな医療を迅速に届けるとともに、地域から世界へ発信できる次世代医療イノベーション創出を目指します。

## 神戸大学橋渡し研究支援拠点のミッション・ビジョン

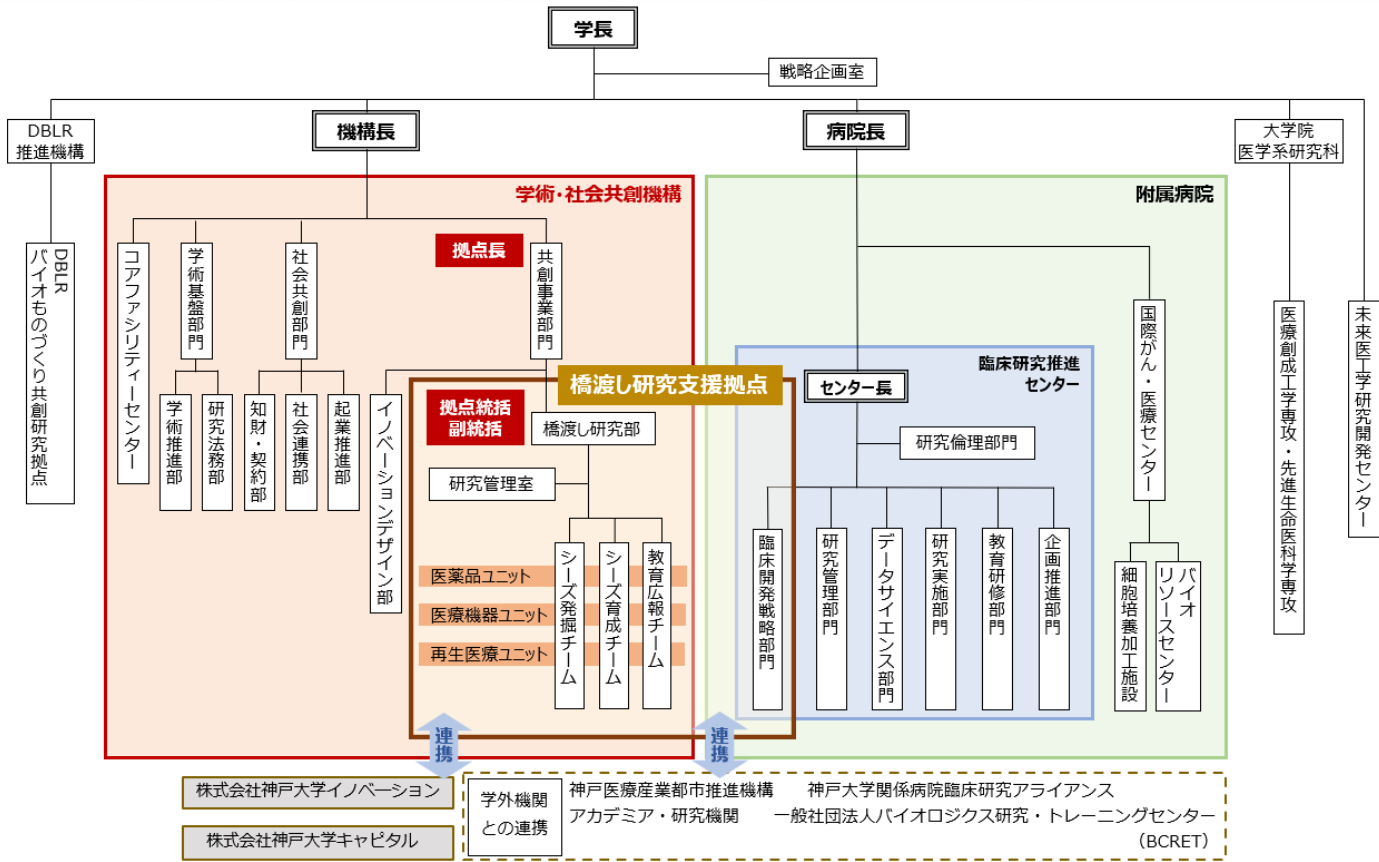
### Mission (使命)

- ・ 基礎研究成果を臨床・実用へと橋渡しする
- ・ 医工連携を軸とした新たな医療価値を創出する
- ・ 学内外の有望シーズの実用化を支援する

### Vision (目指す姿)

- ・ 医療イノベーション創出のハブ拠点
- ・ アカデミア・企業・医療機関をつなぐ共創基盤
- ・ 地域発・世界展開型のトランスレーショナルリサーチ拠点

# 組織図



## 橋渡し研究支援拠点の体制・特徴

- ・ 学術・社会共創機構共創事業部門に拠点を設置
- ・ 外部機関との連携を強化、オープンイノベーション主軸の支援
- ・ 臨床研究推進センターと一部機能をオーバーラップ、シーズのシームレスな支援を実現

# 神戸大学橋渡し研究支援拠点の特徴

## “実装までやり切る” 橋渡し

神戸大学は「患者に届くまで」をスコープに「創り、磨き、実装する」まで踏み込みます。



## 神戸大学橋渡し研究支援拠点の4つのつよみ



### 医工連携の密度

医学×工学×情報の  
高密度連携で  
「作れる体制」を実現



### 外部シーズ育成力

外部シーズをゼロから  
PoC取得まで  
伴走して育てる



### 臨床経験×開発思考

臨床研究実績の強みと  
開発思考を融合し、  
実装に直結する開発を推進



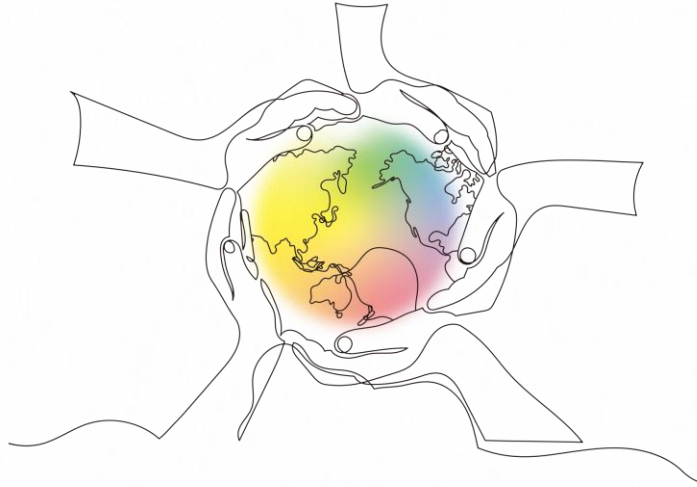
### スピードと柔軟性

制度に縛られない  
意思決定の速さと  
柔軟な運用体制

# 神戸大学橋渡し研究支援拠点の特徴

医工連携の密度 神戸大学医工探索創成センター

<https://www.hosp.kobe-u.ac.jp/ikoujiso/>



01



## 実施体制



神戸大学では、「共創型グローバルハブ (Co-creation Global-Local Hub)」という構想のもと、医療機器産業における日本の競争力強化と国際展開の加速に向け、「日本型エコシステム」の構築を推進しています。

02



## 人材育成



神戸大学では、医療機器開発におけるイノベーションを牽引する人材を育成するために、社会人向け研修プログラムや大学院、学部教育を実施しています。

- MDP育成プログラム
- 大学院医学研究科「医療創成工学専攻」
- 医学部「医療創成工学科」(2025年設置)

03



## 医療機器開発支援



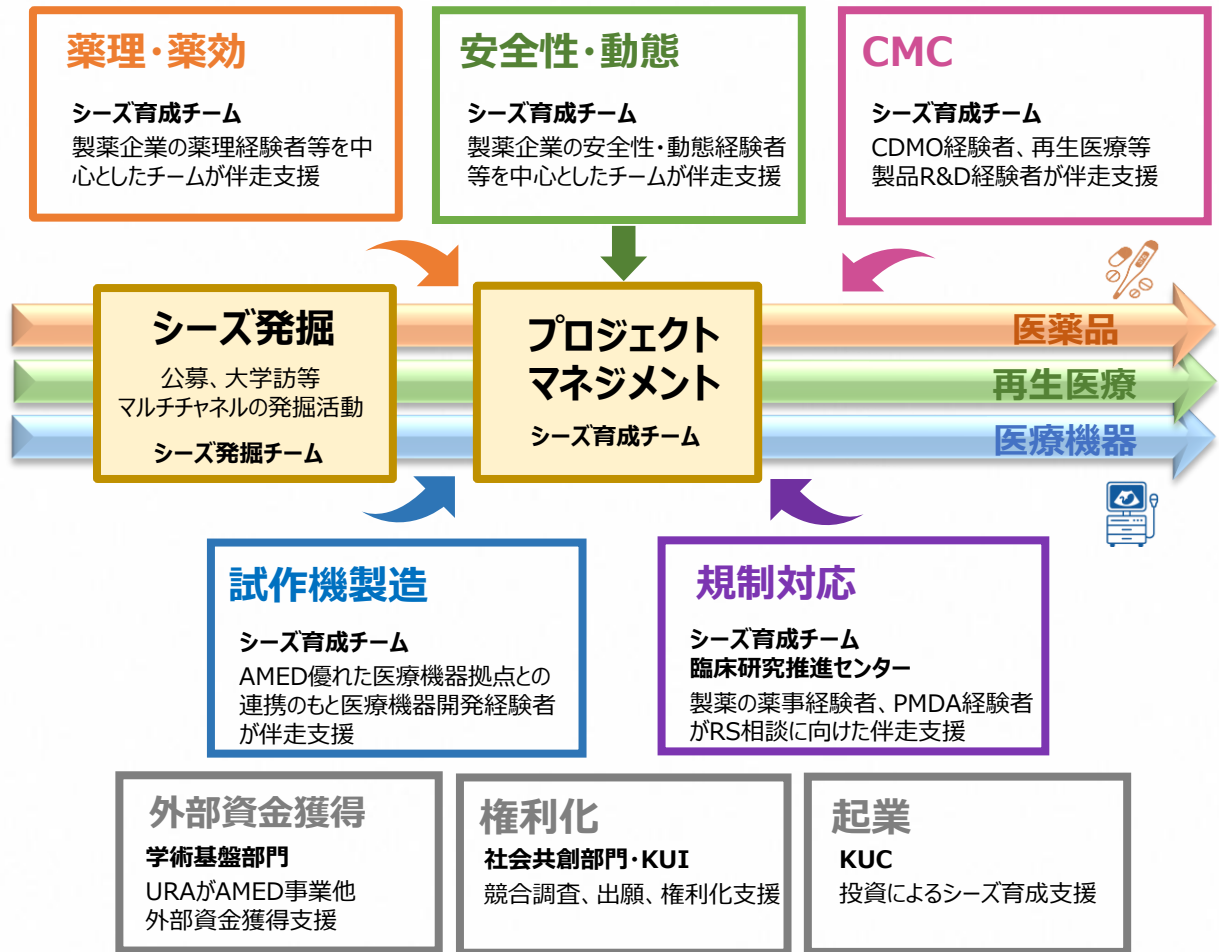
神戸大学では、企業の研究開発者や学内外工学系研究者・医療従事者を繋ぎ、初期開発から社会実装に向けて、ハンズオン型の支援をしています。医療機器開発のご相談も受け付けています。

神戸大学医工探索創成センターは、医学・工学・情報科学など異分野の知を融合し、臨床現場の課題解決や新たな医療技術・医療機器・治療法の創出を目指して活動しています。

基礎研究から社会実装までを見据え、学内外の研究者、医療機関、企業との連携を通じて、次世代医療イノベーションの創成を推進しています。

これまでに、鏡視下手術における「ICG蛍光ガーゼ」や透析現場向け「セイフティー鉗子」、耳鼻咽喉ビデオスコープなどの医療機器開発を産学連携で推進し、OFDI血管内画像診断システムでは下肢動脈領域への国内初承認取得にも貢献しました。また、MDP（メディカル・デバイス・プロデューサー）育成プログラムを通じ、企業・医療従事者・研究者など累計170名超の医療機器開発人材を育成しています。

# 神戸大学橋渡し研究支援拠点の支援体制



## わたしたちのケーパビリティ

- ・ 医薬品開発（薬理・薬効・動態・安全性・毒性・CMC・臨床開発・薬事）について製薬会社経験者を中心とした経験豊富な人材が伴走・支援いたします。
- ・ 医療機器開発において、承認申請～商品化を実現したエキスパートを配置、機器開発を最速で進めることが可能な体制で伴走・支援いたします。
- ・ シーズ探索について製薬企業で事業開発を経験した人員、初期シーズの育成に従事した人員を配置、優れたシーズを適切な育成につなげる体制を実現しています。

# 神戸大学橋渡し研究支援拠点の支援

—戦略設計から臨床までシームレスな支援—



## 橋渡しを、“支援”から“実装責任”へ

- ・ 研究初期から臨床実装までを一体設計し、事業化実現性を高めます。
- ・ 医療ニーズ・技術・規制を統合し、実装可能なシーズに再構築します。
- ・ PoC取得から事業化までを見据えた開発戦略を主導します。
- ・ 研究を「成果」ではなく「医療としての価値」へ転換します。

## ご相談窓口

神戸大学橋渡し研究支援拠点

[arc-tr-office@research.kobe-u.ac.jp](mailto:arc-tr-office@research.kobe-u.ac.jp)

- ・ ご相談内容について、ご所属、氏名、連絡先と併せてご連絡ください。

# 学外とのアライアンス

## KTSプログラム (Kobe University - TRI Seeds Development Collaboration Program)



医療イノベーション推進センター(TRI)と連携し、理学・工学等、医療分野以外の全国のJST研究成果に対する医療分野への展開支援

## 神戸大学関連病院臨床研究アライアンス



兵庫県を中心に神戸大学の関連病院、44施設で構成

あらゆる医療階層から医療ニーズやシーズを臨床クエスチョンへと昇華させ、拾い上げる

## 近隣アカデミアとの連携

兵庫医科大学  
兵庫県立大学  
神戸薬科大学  
神戸常盤大学  
鳥取大学  
理化学研究所  
滋賀医科大学



## 拠点事業連携

神戸未来医療構想  
医学系研究支援プログラム  
広島大学、熊本大学  
グローバルスタートアップキャンパス (MedLeap)  
J-PEAKS バイオものづくり拠点  
広島大学、大阪大学、理化学研究所、シンガポール大学、イリノイ大学、テキサス大学、ツールーズ大学、マンチェスター大学  
医療機器開発連携推進ネットワーク「和(やわらぎ)」



学術・社会共創機構橋渡し研究部は、神戸大学を中核として、産学官・地域医療機関・国内外アカデミアとの広域連携を基盤に、医療シーズの社会実装を推進しています。

TRIとの連携による「KTSプログラム」では、基礎研究成果を実用化へ橋渡しする体制を構築し、創薬・医療機器・再生医療分野での展開を進めています。

兵庫県内を中心とした関連病院ネットワークを活用し、多施設共同研究や臨床研究を推進できる体制を整備しています。

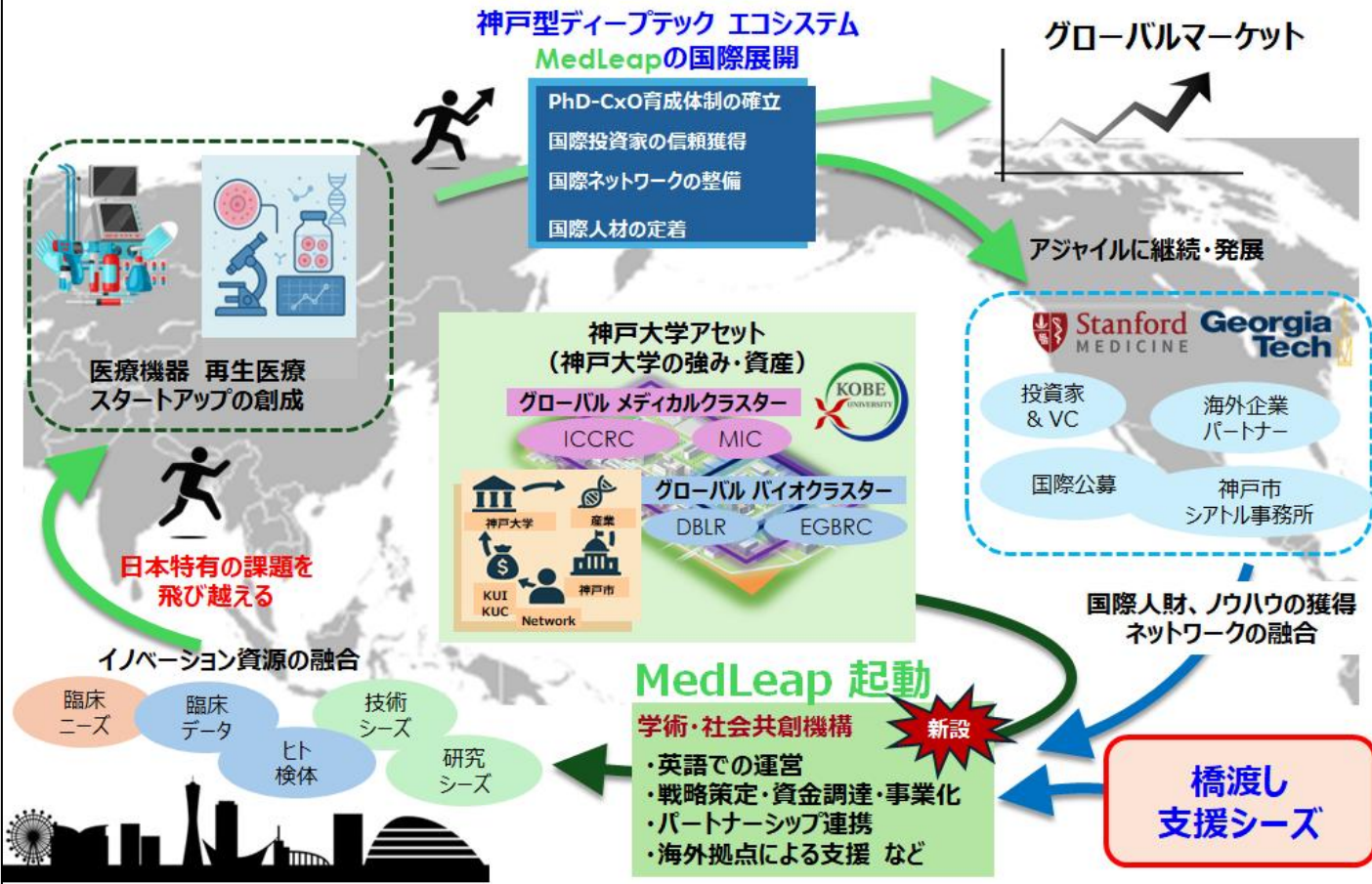
近隣大学や研究機関との連携により、多様な専門領域を横断した研究開発を実現しています。

神戸未来医療構想、神戸大学MedLeap、J-PEAKSなど全国規模・国際規模の拠点事業とも連携し、国内外の大学・研究機関・企業との協創を推進しています。

これらのネットワークを通じて、研究開発から実証、臨床応用、人材育成までを一体的に支援するエコシステム形成を目指しています。さらに、地域発の研究成果を国内外へ展開するハブ機能として、アカデミア・企業・行政をつなぐオープンイノベーションの推進にも取り組んでいます。研究初期段階から臨床応用・事業化までを見据えた伴走支援により、次世代医療の実現と地域医療産業の活性化への貢献を目指しています。

# 特色のある支援 神戸大学MedLeap

## MedLeap : 世界トップクラスの医療ディープテックエコシステム拠点創出へ



グローバルスタートアップキャンパス構想概念図

神戸大学は2025年度、内閣府とJSTのグローバルスタートアップキャンパス構想に採択されました。この事業は海外から優れた研究者を招聘し、その知や技術を活用し、学内外の Cutting Edge なディープテック医療技術を早期にグローバルで通用するスタートアップに展開するものです。

神戸大学橋渡し研究支援拠点は、グローバルスタートアップキャンパス構想と連携し、学外を含む有望なディープテック医療シーズについて、早期から国際展開を前提とした伴走支援を実施し、シーズの価値最大化を実現します。

神戸大学橋渡し研究支援拠点

arc-tr-office@research.kobe-u.ac.jp

〒657-8501 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

HP : <https://www.kobe-u.ac.jp/ja/research/arc/hashiwatashi/>